

入試対策プリント（確率）12日目

- (1) 箱の中に4本のくじがあり、そのうち3本が当たりくじである。箱の中から、Aさんが1本ひく。ひいたくじを箱の中に戻した後、Bさんが1本ひく。このとき、2人とも当たりくじをひく確率を求めよ。

ただし、どのくじをひくことも同様に確からしいとする。

(20. 山梨)

- (2) 100円、50円、10円の3枚の硬貨を同時に投げる。このとき、表が出た硬貨の合計金額が、110円以上になる確率を求めなさい。

ただし、どの硬貨も表と裏の出方は、同様に確からしいものとする。

(20. 長野改)

- (3) 1から5までの数字を1つずつ書いた5枚のカード①, ②, ③, ④, ⑤が、袋の中に入っている。この袋の中からカードを1枚取り出して、そのカードの数字を十の位、残った4枚のカードから1枚取り出して、そのカードの数字を一の位の数として、2けたの整数をつくる。このとき、つくった整数が偶数になる確率を求めなさい。

(20. 岐阜)